

# ひと

「またか」。7月10日未明から続いた激しい雨音と水かさが増す筑後川を見ながら、6年前に福岡県朝倉市にも大きな被害をもたらした九州豪雨の悪夢が頭をよぎった。

ここ数年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、経営する老舗旅館「六峰館」（同市）が計3カ月間休館したのをはじめ苦境の連続だった。コロナの感染症法上の位置付

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会長

に就任した

井上 善博さん



けが5類に移行した5月以降、客足が戻り、ようやく一息つけると、ほっとしたところだった。最悪の事態を覚悟したが、地元の原鶴温泉では一部を除き宿泊施設の被害は最小限だったという。

6月、全国の旅館やホテル約1万6千施設でつくる業界

団体のトップに就任した。津々浦々にある観光宿泊施設は地方創生の切り札であり、外貨を稼ぐ基幹産業に成長すると自負する。重労働なのに低賃金との風評もあり、人手不足は深刻な業界。ただ、外国人労働者の安易な受け入れについては懐疑的だ。

「海外からの観光客は日本の自然、歴史、文化に価値を見いだしている。決して安いから来ているのではない」  
海外と比べて低価格とされる宿泊料金の引

き上げに向けた議論を、業界全体で始める必要性を訴える。適正な価格によって賃金が増えれば、なり手はおおざと現れる。「安売りするな」が持論だ。

近年、激甚化する災害を受け、旅館やホテルが被災した場合の救済方法を国などに働きかける必要性も高まっている。「一体がいくつあっても足りませんよ」と笑う。

家族は妻と長男。趣味はドライブ。幼い頃からカブトムシをこよなく愛する54歳。

（吉川文敬）